

【ご参考資料】

2015年7月24日



ブラジルの財政目標の下方修正について

ポイント1 プライマリーバランス目標を引き下げ

7月22日（現地時間）の取引終了後、ブラジル政府は、2015年のプライマリーバランス（基礎的財政収支）目標をGDP（国内総生産）比1.1%の黒字から、同0.15%の黒字へ引き下げることを発表しました。これを受け、23日のブラジル金融市場では、株式・債券・為替ともに大きく下落しました。

ポイント2 引き下げ幅は、市場の想定を上回る

財政収支の改善は、経済構造改革に取り組む現政権の中心政策の一つですが、成長鈍化による税収減に加えて、支出削減が当初予定通りには進んでいないことから、市場では目標の引き下げは不可避と見られていました。一方で、引き下げの幅が想定以上であったことから、市場では財政再建に関して悲観的な見方が広がったと考えられます。

レヴィ財務相は、0.15%という数値については、最低限の目標と述べており、繰り返しの修正を避けるために、あえて低めの数値にしたと考えられます。

ポイント3 格付を巡り市場変動が大きくなる可能性

こうした中、格付会社ムーディーズが近日中に同国の格付を発表すると見られており、市場では同国の信用力が後退することによる格下げへの懸念が強まっています。

政府は財政再建に向けた強い意志を示しているものの、財政再建の進捗に対する格付会社の評価を巡っては、市場の変動が大きくなることも想定されるため、今後の動向を注視していく必要があると思われます。

重要イベント 2015年7月29日 金融政策発表
2015年7月31日 プライマリーバランス（6月）

重要イベントは現地時間で記載しています。

【図1】株式指数（ボベスパ指数）の推移



【図2】10年国債利回りの推移



【図3】為替レートの推移

